

# 奥田一重先生と行く 奈良2日間 正倉院展と奈良の小さな寺を訪ねる



正倉院校倉

## \*「旅のお勧め」\*

昭和二十一年から続けられてきた正倉院展は、今年七十四回目を迎えます。長い間、人々を魅了し続けてきた宝物は、今年五十九点が展示されます。華やかな天平文化が開いた奈良時代、その中で作られた生活用具から工芸品の数々、そしてシルクロードを経て日本に齎された品々、正倉院の宝物は、およそ九千点にのぼります。そしてこれらの品々は、正倉院の校倉の中で、奈良時代の人々の技や、息づかいを留めながら、千二百五十年余の間、守られてきました。宝物の一つ一つに、それぞれ、当時の作り出した人々や、用いていた人々の物語があります。正倉院展は、奈良時代の人びとと、現代の私たちが、宝物を介して交流する‘場’ともいえます。今年、どのような宝物が、どのような物語を私たちに語りかけてくるでしょうか。

加えて2日目は、観光でにぎわう大寺院を避けて、平城京周囲の地にある小さな寺を訪れてみたいと思います。秋の紅葉の中で、山間にたたずむそれぞれ奈良時代の面影を残す寺社です。

奥田 一重

### 【講師 奥田一重先生プロフィール】

奈良市観光大使  
元NHK正倉院プロジェクト取材班  
統括プロデューサー、  
日本記者クラブ会員  
NHK文化センター  
千葉教室、柏教室にて正倉院に関する講座の講師を務める。



●正倉院に関する著作  
「ドキュメント正倉院」日本放送出版協会 / 「正倉院の宝物・ビデオシリーズ」NHKエンタープライズ

	日付	スケジュール
1	11/1 (火)	ホテル日航奈良 (12:45集合) ホテルにて <b>奥田先生による「正倉院展見学の事前講座」</b> (13:00~13:50) ホテル --- (公共路線バス) --- <b>正倉院校倉 (見学)</b> --- 奈良国立博物館 <b>「正倉院展」各自鑑賞 * 特別展</b> (16:00~) その後自由行動 ※夕食は各自にて (ご夕食オプションあり) ホテル日航奈良 (泊)
2	11/2 (水)	ホテル(8:15発) --- (奈良奥山ドライブウェイ) --- <b>若草山 (展望見学)</b> --- --- <b>正暦寺 (参拝・見学)</b> --- <b>弘仁寺 (参拝・見学)</b> --- 道の駅 (昼食・買い物) --- --- <b>秋篠寺 (参拝・見学)</b> --- <b>浄瑠璃寺 (参拝・見学)</b> --- <b>岩船寺 (見学 * 特別公開)</b> --- 近鉄奈良駅前 (17:50頃 解散予定) --- JR奈良駅西口 (18:05頃 解散予定)

※上記日程はコロナ状況・現地事情・交通事情等により変更になる場合がございます。(見学場所など)

### 募集要項

- 旅行期間:2022年11月1日(火)~11月2日(水) 1泊2日
- ご旅行代金: **2名1部屋利用:66,000円 / 1名1部屋利用:68,000円**  
\*上記料金は現地費用となり集合解散場所までの費用(自宅→JR奈良駅→自宅)までの移動交通費は含まれておりません。
- 旅行代金に含まれるもの:ホテル1泊・朝食1回・専用バス代(2日目)・講師費用(講師料/旅行代/食事代)・添乗員費用
- 募集人数:20名(最少催行人数15名)
- 募集締切日:2022年10月7日(金)\*定員になり次第締め切りとなります。
- 添乗員:1名同行致します。(集合地から解散場所まで)
- 宿泊先:ホテル日航奈良 \*奈良を代表するホテル、JR奈良駅西口直結(徒歩3分)の好アクセスで便利な立地です。大浴場もあります。
- 利用予定バス会社:奈良交通 (貸し切り専用バス=2日目のみ) \*コロナ対策としてバス座席はゆったりと2席を1名使用にてご用意いたします。
- 集合解散場所:ホテル日航奈良集合(12:45) / 近鉄奈良駅前解散(17:50頃)・JR奈良駅西口解散(18:05頃)
- \*最小催行人数に達し催行決定となりましたらお客様にご連絡させていただきます。ツアー催行決定後にお客様ご自身にて集合解散場所までの交通手配(新幹線等)をお願いいたします。
- 想定列車 往路:新幹線のぞみ19号 博多行き 東京駅09:09発→京都駅11:21着 / JRみやこ路快速 奈良行き 京都駅11:33発→JR奈良駅12:18着 (参考) 復路:近鉄特急 京都行き 近鉄奈良駅18:30発→近鉄京都駅19:05発 / 新幹線のぞみ50号 東京行き 京都駅19:24→東京駅21:36着  
その他JR・新幹線スケジュール等不明な点などございましたら、どうぞお気軽にお問合せください。手配手数料(¥2,200)がかかりますが弊社にてお手配することも可能です。

### 第74回正倉院展

#### 特別展

この時期だけの特別展となります。

今年の展示宝物を、用途別に分けて主なものをあげてみます。  
○「**装身具**」犀角魚形、彩絵水鳥形など飾り具、斑犀把緑牙鞘刀子、貝環などの身を飾る品々  
その他にも小物の飾り物が多数展示され、天平時代の人々のファッション感覚を、垣間見ることが出来ます。  
○「**鏡類**」漆背金銀平脱八角鏡、鳥獸花背円鏡、金銀平脱箱など。豪華な細密な宝物です。  
○「**調度品**」白石鎮子、鸚鵡縹緗屏風、象木縹緗屏風、錦繡綾純等雜帖など。貴族の部屋の様子が浮かびます。  
○「**仏具**」銀壺、金銅幡、粉地彩絵几、全浅香などは、当時の仏教の華やかさを示しています。  
○「**伎楽面・遊戯具**」力士面、呉女面、呉公面。沈香木面雙六局。奈良時代の人気の興行と遊び道具の代表です。  
○「**正倉院文書**」続統正倉院古文書、筑前国嶋郡戸籍など文書、記録書も多数展示され、奈良時代の世相の一部が浮かびあがります。



### 正暦寺

正暦3(922)年、一条天皇の発願により、関白九条兼家の子兼俊が創建。別名「錦の里」、紅葉の名所として知られる自然豊かな寺院です。日本酒の醸造発祥の地としても知られています。



### 弘仁寺

海拔180メートルの小高い山の中腹に本堂を中心に寺堂が建ち並んでいます。弘仁5年(814)嵯峨天皇の勅願で弘法大師が創建したと伝えられています。本尊は木造虚空蔵菩薩。



### 秋篠寺

780年頃、光仁天皇の勅願によって建立され、開山は善珠僧正と伝えられています。本堂の25体の仏像の中でも特に著名なのが伎芸天(仏文)で諸技諸芸の守護神として多くの芸術家や芸能人らに慕われています。



### 岩船寺

#### 秘仏特別公開

この時期だけの特別公開となります。

天皇の勅命により、行基によって729年に創建されたと伝えられています。秘仏(如意輪観音菩薩・弁財天菩薩など)・秘宝(岩船寺縁起、両界曼荼羅など)の特別公開日になっています。



### 浄瑠璃寺

8世紀に創設されたと考えられています。正確な日時は不明ですが、三重塔と本堂とともに国宝に指定されています。本堂には九体阿彌陀如来像と、四天王像が横一列に並んでおり、こちらもともに国宝に指定されています。



### 奈良奥山ドライブウェイ

若草山・春日山・高円山を結ぶ約12kmの行程。奈良市の眺望や原始林、鶯滝など変化に富んだドライブが楽しめます。中でも、若草山山頂から眺める眺望は圧巻です。

